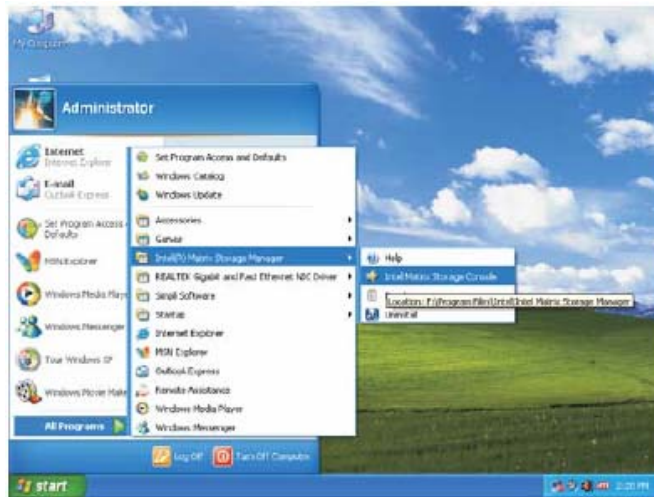


---

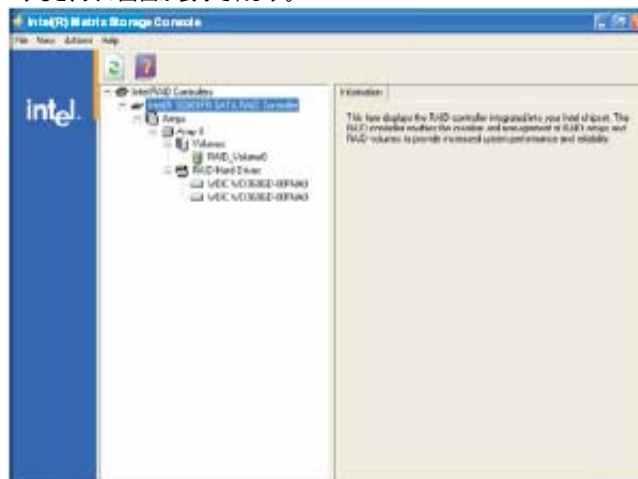
## Intel Matrixストレージマネージャの手引き

### 1. Intel Matrixストレージマネージャに入る

RAIDドライバは、サポートCDに付属する1つのドライバのIntel ALLに組み込まれています。ドライバのインストールが終了したら、RAIDアレイを作成、削除、構築することができます。Start (スタート) → All Programs (すべてのプログラム) → Intel(R) Matrix Storage Manager (Intel(R) Matrixストレージマネージャ) → Intel Matrix Storage Console (Intel Matrixストレージコンソール)をクリックして、Intel Matrixストレージマネージャに入ってください。



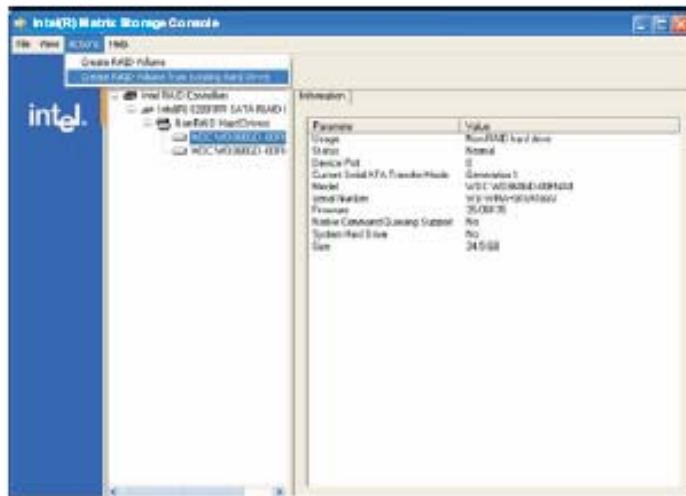
すると、次の画面が表示されます。



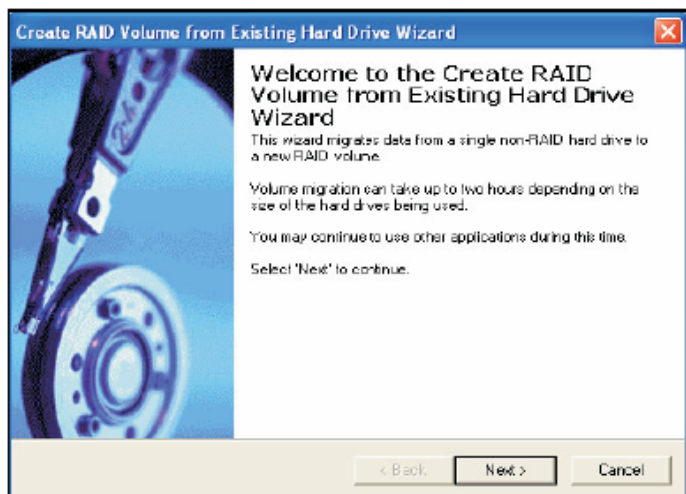
---

## 2. RAIDボリュームの作成

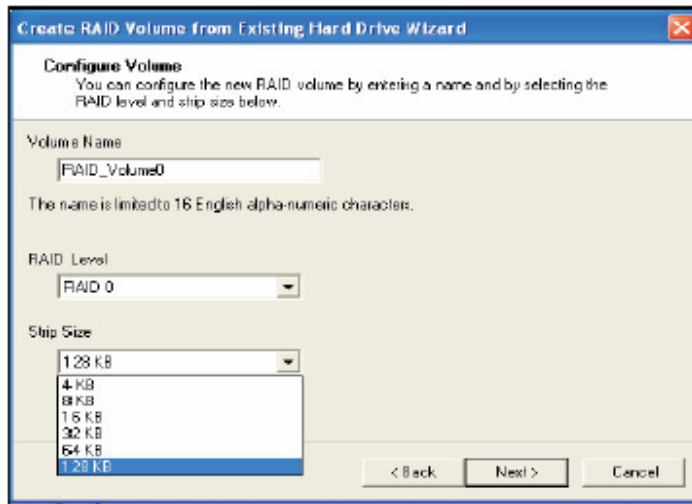
Action (アクション) → Create RAID Volume from Existing Hard Drive(既存のハードドライブからRAIDボリュームの作成)を選択して、RAIDボリュームを作成します。



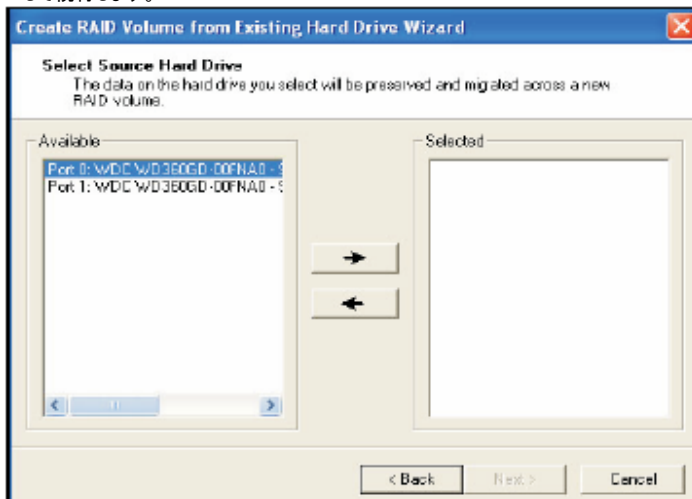
Create RAID Volume from Existing Hard Drive(既存のハードドライブからRAIDボリュームの作成)がポップアップ表示されます。Next (次へ)をクリックして続行してください。

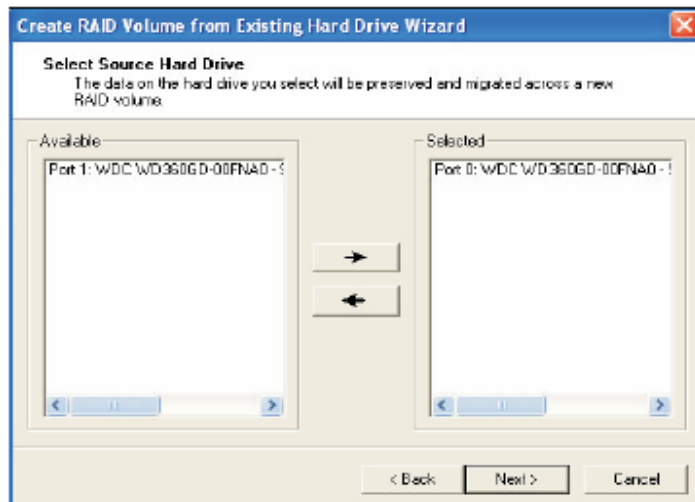


新しいRAIDボリュームを設定するには、1～16文字の範囲で**Volume Name (ボリューム名)**を入力し、**RAID Level (RAIDレベル)**を選択し、4KBから128KBの間で**Strip Size (ストリップサイズ)**を設定します。もっとも一般的なストリップサイズ設定は、以下の通りです。  
4KB:特殊な使用モデルの場合、4KBストリップが必要です  
8KB:特殊な使用モデルの場合、8KBストリップが必要です  
16KB:逐次転送に最適です  
32KB:逐次転送に最適です  
64KB:汎用のストリップサイズに適しています  
128KB:ほとんどのデスクトップとワークステーションで最高のパフォーマンスを発揮します

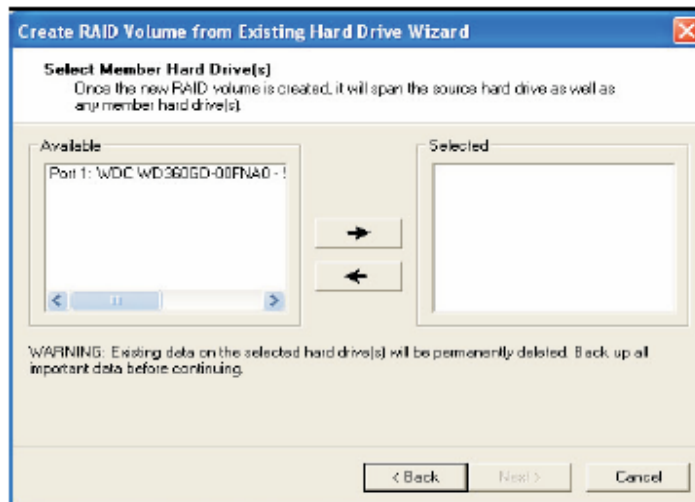


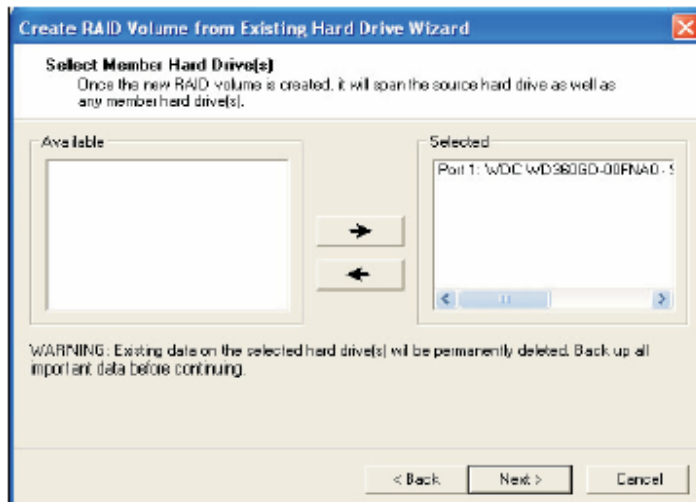
ソースディスクを選択する必要があります。「→」矢印をクリックして**Selected(選択された)** フィールドに使用する予定のソースディスクを移動し、**Next (次へ)**をクリックして続行します。



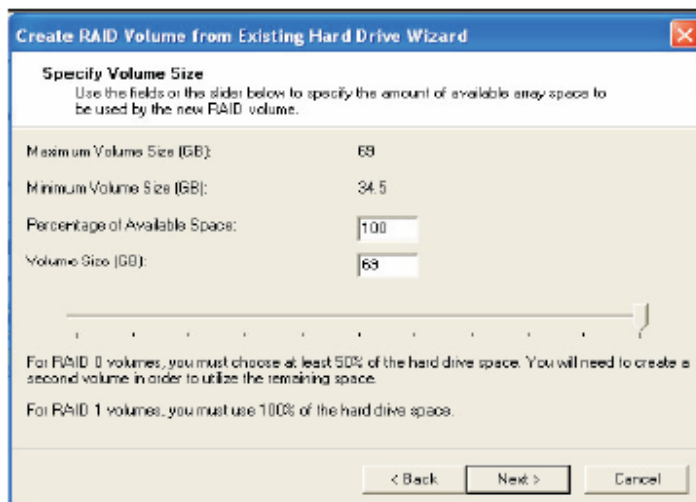


メンバディスクを選択する必要があります。「→」矢印をクリックして**Selected(選択された)**フィールドに使用する予定のメンバディスクを移動し、**Next (次へ)**をクリックして続行します。選択したハードディスクドライブの既存のデータが削除されるため、続行する前に必ずデータをバックアップしてください。



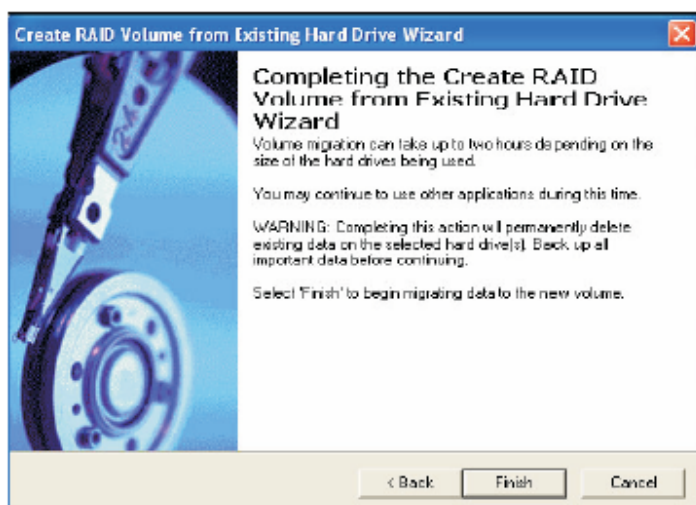


**Volume Size (ボリュームサイズ)**を指定します。新しいRAIDボリュームで使用されるアレイスペースの量を指定します。スペースに量を入力するか、スライダを使用して指定することができます。使用法を最適化するには、利用可能なスペースを100%使用することをお勧めします。**Next (次へ)**をクリックして続行します。

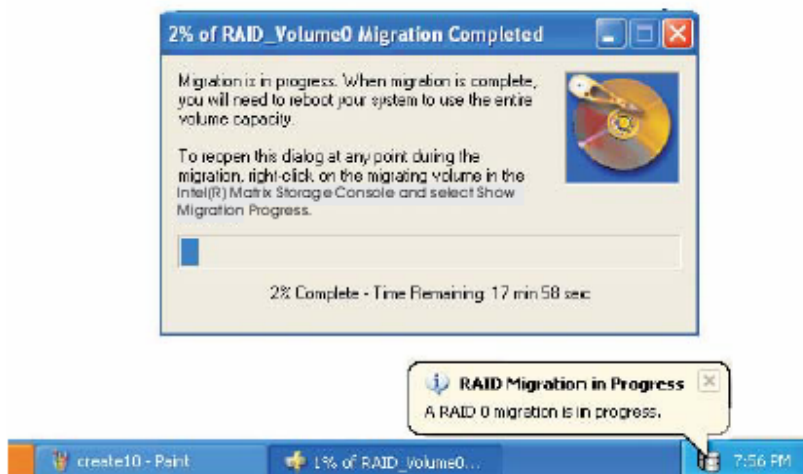


---

既存のハードドライブウィザードから、RAIDボリュームの作成を開始します。**Finish (終了)**をクリックすると、選択したハードドライブの既存のデータは削除され、この操作は元に戻すことができません。この手順を行う前に、重要なデータをすべてバックアップするのは重要です。

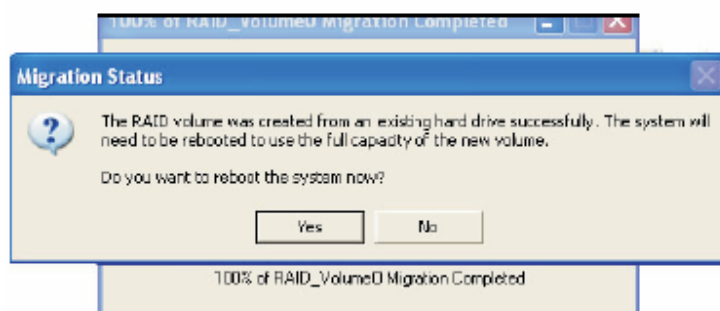


移行プロセスが開始されます。このプロセスには、使用するデスクのサイズと選択したストリップサイズによっても異なりますが、完了に最大2時間かかります。



---

移行プロセスが完了すると、次の画面が表示されます。新しいボリュームの容量をすべて使用するには、システムを再起動する必要があります。



## **IRRT (Intel 高速復元技術)**

Intel 高速復元技術は、Intel マトリックスストレージマネージャの機能です。RAID 1 (ミラーリング)機能を使って、指定のマスタドライブから指定の復元ドライブにデータをコピーします。マスタドライブデータは、継続的または要求時に、復元ドライブにコピーできます。

継続更新ポリシーを使う場合、システムを休止しないまま、マスタドライブのデータに変更を加えると、システムの再起動時に、復元ドライブに自動的にコピーされます。要求時更新ポリシーを使う場合、マスタドライブデータは、復元ドライブのデータをマスタドライブにコピーして戻すことで、前の状態に復元できます。

### **注意:**

復元容量は、システム上のみの容量です。復元容量は、2つのハードドライブをあわせたものの小さいほうのサイズと等しくなります。